

## 岡山市国土強靱化地域計画（令和3年7月改定）の概要

### <計画の目的>

大規模自然災害時、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず迅速に回復する、「強さとしなやかさ」を備えた都市づくりを平時から構築すること。

### <計画改定の背景>

- ・国の基本計画の改定（平成30年12月）
- ・県の地域計画の改定（令和3年2月）
- ・現行計画の推進期間の終了（令和3年3月）

## 【第1章 計画の見直し趣旨と位置づけ】

<計画見直しの趣旨> ※改定の経過等を追加

### <計画の期間>

○推進期間は設定せず、必要に応じて随時見直しを実施

## 【第2章 強靱化の基本的な考え方】

### <基本目標>

- 4つの目標を設定
  - ①人命の保護が最大限図られること。
  - ②市及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること。
  - ③市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
  - ④迅速な復旧復興

### <事前に備えるべき目標>

- 8つの目標を設定 ※国に合わせて表現を修正
  - ①直接死を最大限防ぐ。
  - ②救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する。
  - ③必要不可欠な行政機能は確保する。
  - ④必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する。
  - ⑤経済活動(サプライチェーンを含む)を機能不全に陥らせない
  - ⑥ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる。
  - ⑦制御不能な複合災害、二次災害を発生させない。
  - ⑧社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する。

## 【第3章 対象とする災害】

### <対象とする大規模自然災害>

○津波・地震・風水害・複合災害 ※一部文言を追加・修正

## 【第4章 脆弱性評価】

### <リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）の設定>

○基本目標を達成する上で何としても回避すべき事態として41のリスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）を設定

### <施策分野>

○8つの個別施策分野と4つの横断的の分野を設定し、本計画に明記すべき施策を検討

#### 【個別施策分野】

- ①行政機能/消防/防災教育等
- ②住宅・都市/情報通信 他6つ

#### 【横断的施策分野】

- ①リスクコミュニケーション
- ②人材育成 他2つ

## 【第5章 施策の推進方針】

### <リスクシナリオごとの推進方針>

○強靱化に係る施策の取り組み方針として、基本目標の達成に向けハード・ソフトの両面から強靱化を図るため、リスクシナリオごとの推進方針を策定し、234の指標目標を設定

### <推進する施策・取組の例>

- ハード対策
  - ・河川維持管理計画に則った、河道掘削や樹木伐採等の維持管理の推進
  - ・環状道路の整備の促進
  - ・緊急輸送道路等の整備・耐震対策の推進
- ソフト対策
  - ・地域防災研修会の実施による、自主防災組織の活性化や地域防災力の向上
  - ・総合防災訓練の実施
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画策定の促進

### <取組の重点化>

○効果の大きさ、緊急性・切迫性、平時の活用、国全体への強靱化への貢献の視点から、上記の施策・取組の例を含む70の重点化する指標目標を選定

## 【第6章 計画の推進と進捗管理】

PDCAサイクルに基づき、計画を着実に推進していく。